

住友電工グループニュースレター

2010

# SEI World 08

Vol.395



住友電工グループは「Glorious Excellent Company」を目指します。

住友電工グループの目指すべき姿

## 「Glorious Excellent Company」

「Glorious」には400年余の歴史をもつ「住友事業精神」や「住友電工グループ経営理念」の具現化を、「Excellent」には持続的成長のための事業目標、すなわち住友電工グループの具体的・定量的なあるべき姿を示しています。

## Contents



10

今月の関係会社紹介  
北海道住電精密株  
北海道電機株



Glorious

9

「番外編」  
SEI子さん、  
住友ゆかりの地をめぐる  
〜四阪島編〜



Excellent

7

『今月の記事』  
住友電工新聞  
富通住電光纜(成都)  
有限公司において  
光ファイバ工場の  
開所式を挙行  
他



Excellent

3

製品技術  
SEI子さんの製品講座  
イットリウム系  
超電導線材  
他



2

社長メッセージ  
帆船の油絵

## 今月の表紙

2010年度「SEI WORLD」の表紙テーマは「みち」です。  
これまで歩んできたみち。そしてどこまでも  
つづく未来へのみち。毎月違った表情の  
「みち」の風景をお楽しみください。  
今回は、黒海と地中海を結ぶ海上交通の  
要衝であるボスポラス海峡です。



## お詫びと訂正

SEI World07月号(Vol.394)に掲載しました記事「ガス分解素子を用いたアンモニアガス分解除害装置を開発」につきまして、下記の通り間違いがございました。謹んでお詫び申し上げますとともに、訂正させていただきます。

▼P3 ニッケルセルメット写真のスケールバーの単位  
(誤)  $\mu\text{m}$  → (正)  $\text{mm}$

▼P4 アンモニアガスの各除害処理方式の特徴  
(誤) 燃焼除外 → (正) 燃焼除害



## 帆船の油絵

会社の私の部屋には、かなり大きな帆船の絵を掛けています。波濤をもとめせず、揺るぎない信念で目的地を目指すかの如き帆船が、力強いタッチで描かれています。この絵は、1980年代、私がロンドンで現地法人の責任者をしていた時、シャーロック・ホームズで有名なベーカー街近くに自前の事務所を構えたのを機に、清水の舞台から飛び降りたつもりで購入したものです。その心は、新たなオフィスでの業務開始にあたり、社員一同に「急変する経済環境に果敢に挑戦し、この会社をミニ住友電工のように育てるぞ」という自分の気概を示すとともに、現地法人の船長たる自分自身を鼓舞するためでした。

優れたリーダーとして今なお語られる英国の探検家アーネスト・シャクルトン卿は、エンデュランス号で南極大陸横断を目指しても、氷塊の中で1年8ヶ月にわたり漂流。当初の目的は果たせなかったものの、絶望的な状況においても隊員の希望を失わず、かつ冷静な判断と実行力で、1人の隊員も欠けることなく奇跡の生還を果します。



日本代表の活躍に歓喜したサッカー！ワールドカップでは、フランス、イタリアが予選敗退、そしてブラジル、アルゼンチンもベスト4には残れませんでした。団体スポーツにおいても、個人のテクニックはもちろん重要ですが、それをチームとして如何に発揮、機能させるのが勝負のポイントだったのではないのでしょうか。

大小の如何を問わず組織のリーダーには、個々のメンバーの能力を引き出し、組織力を最大化することが求められます。出口（目標）と時間軸（スケジュール）を明確にし、メンバーそれぞれの力のベクトルをあわせ、出口に向かって集中させる

ことが必要になります。そして、その前提となるのは、密なコミュニケーションに基づき相互の信頼関係です。

少し大袈裟な言い方ですが、私たちは、今まさにグローバル化という荒海の真っ只中にいます。この絵を見るたびに船長としての責務に身が引き締まるとともに、沸々とファイトが湧いてきます。

製品技術は、  
ワタシに  
まかせて!!



イットリウム系超電導線材 パワーシステム研究所



PLD法における超電導成膜の様子



導入した300ワットレーザー発振装置

イットリウム系超電導線材の  
実用化に向け

研究開発用設備を増強

当社が開発中のイットリウム系超電導線材は、低磁性のクラッド型金属配向基板上に中間層を形成し、その後レーザー照射により発生したプラズマ中に中間層の付いた基板を搬送させるパルスレーザー蒸着法(PLD法)で超電導膜の結晶を成長させます。すでに、長さ20メートルで、銅線の約100倍に当たる1平方センチメートルあたり23キロアンペアの送電能力を達成しました。

このほど、大阪製作所に、出力300ワットのレーザー発振装置を導入。製造能力を従来比で1.5倍に拡大すると共に、線材を安定的に生産する技術の確立を目指します。

平成23年度以降、当社も参画している新エネルギー・産業技術総合開発機構の国家プロジェクト「イットリウム系超電導電力機器技術開発」(平成20年〜24年度)において、イットリウム系超電導線材を用いた電圧66キロボルト、電流5キロアンペア、長さ15メートルの超電導モデルケーブルの製作と工場試験を予定しており、本年度中に幅1センチメートル、月当たり総長1キロメートルの線材を安定生産する体制を整備していきます。

日米欧韓で実用化開発が  
活発化しています。  
世界トップを目指して  
頑張ります。



CANコンFORMANCEステスト (株)オートネットワーク技術研究所



CANコンFORMANCEステストの  
認証を取得

これは、IPコアと呼ばれる  
知的財産ですね。



(株)オートネットワーク技術研究所(以下、オートネット研)は、2010年2月16日にドイツC&S group GmbH(以下、C&S)SCANコンFORMANCEステストの認証を取得しました。

CAN(Controller Area Network)は、現在、世界中の自動車メーカーが採用し、多くの車載機器(ECU)が使用している通信規格です。様々なメーカーのECUが問題なく通信できることを保証するために、CANコンFORMANCEステストが国際標準として規定されています。

欧米では、ほとんどの自動車メーカーが、CANコンFORMANCEステストの認証取得を必須としており、C&Sは、ドイツにある世界で唯一SCANの第三者認証機関です。一般的に、認証を取得するのは、CANコントローラを内蔵するマイコンメーカーであり、ECUメーカーは、認証を取得しているマイコンを使用しています。しかし、オートネット研では、CAN通信の性能や機能の向上を目指し、CANコントローラ部分を自社開発し、認証を取得しました。今回の認証取得は、今後の住友電工グループのECUやゲートウェイビジネスに、大きく貢献するものであり、今回の成果を用いた新製品の開発に、より一層取り組んでいきます。





エポキシ樹脂で被覆された高機能PC鋼材は、耐久性や経済性に優れ、コンクリート構造物の長寿命化にも貢献します。



# 大都市間を結ぶ新しい幹線道路 第二京阪道路に活かされる 高機能PC鋼材



内部充てん型エポキシ樹脂被覆PCケーブルの橋梁桁内での設置状況  
[写真提供: 三井住友建設(株)、場所: 交野高架橋]



第二京阪道路・交野高架橋付近 [写真提供: ㈱大阪建設工業新聞社]

本年3月に全線開通した第二京阪道路(事業主体:国土交通省、西日本高速道路(株))に住友電工スチールワイヤー(株)の高機能PC鋼材「内部充てん型エポキシ樹脂被覆PC鋼より線<sup>※1</sup>」、「プレグラウトPC鋼より線<sup>※2</sup>」が多数使用されています。

第二京阪道路は京都市と大阪府門真市を結ぶ延長28.3kmの道路で、この開通により、国道1号の慢性的な渋滞の緩和や周辺の生活道路への車流入量の減少等の整備効果がみられています。さらに阪神高速8号京都線・京滋バイパス・近畿自動車道との接続による近畿圏の交通ネットワークの活性化、緊急医療機関への搬送路や災害時の輸送動脈としての役割も期待されています。

本道路の建設にあたっては、短期施工や環境負荷低減などが求められ、これらを実現するべく、様々な先進的技術が用いられています。その中の一つとして住友電工スチールワイヤー(株)の高機能PC鋼材は、工期短縮が可能なことや優れた耐久性などが評価され、多くの橋梁部分に使用されています。住友電工スチールワイヤー(株)は、これからも優れた製品とサービスの提供により、国内外の社会基盤形成に広く貢献していきます。

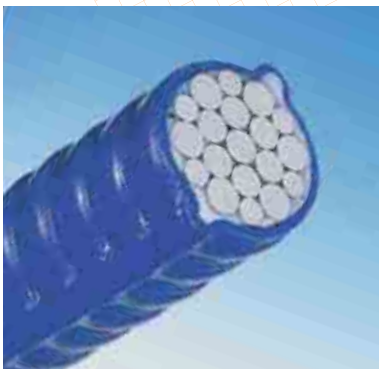
普段利用している高速道路でも当社の技術が活かされているんですね。



※1 内部充てん型エポキシ樹脂被覆PC鋼より線 直径15.2mmφ鋼より線に厚膜のエポキシ塗装を施し、PC鋼より線を構成するワイヤー間にもエポキシ樹脂を充てんした防食PC鋼より線。ISOや米国ASTM規格化されています。



※2 プレグラウトPC鋼より線 あらかじめ工場でPC鋼より線に後硬化型のエポキシ樹脂が塗布されシートに包まれているため、現場でのグラウト作業が不要となる防食PC鋼より線。現場施工省力化、工期短縮、PCケーブルと構造物の信頼性向上などのメリットがあります。



# 業界最高水準となる 深い切り込み量を実現



SEC-DNX/DNH/DNHSシリーズ



DNX用刃先交換チップ

## Point 1 切り込み量最大8mmの 高能率加工を実現

四角形のチップ形状を採用し、刃先角度を最適化することで業界最高水準となる最大切り込み量8mmの深い切り込み量を実現。さらに、テーブル送り速度1,000mm/分の高送りにより、加工時間を大幅に短縮可能です。

## Point 2 8コーナー使いの経済性と、 優れた切れ味を両立したチップ

カッタボディは、チップを表裏両面とも使える「ダブルネガ」設計を採用。専用の四角形チップは8コーナー全てを使用でき、高い経済性を発揮します。また、本製品は、刃先強度を維持し、鋭い切れ味を有する独自ブレーカを開発、採用することにより、切削抵抗を他社同等品比15%以上低減しました。この結果、従来ダブルネガ設計カッタでは難しかった深い切り込みが可能となり、従来品比50%以上の加工効率アップを達成します。また、チップ寿命も30~100%の向上が可能で、優れた加工効率と高い経済性を両立しました。

## Point 3 豊富なボディのバリエーション

カッタボディは、在庫アイテムの「DNX型」と、受注生産の「DNH型」、「DNHS型」の3種類をラインアップしています。「DNH型」は、小切り込みながらも超高速加工を追求、「DNHS型」は、独自チップ配列により、DNH型の切り込み量を大きくしました。3種類とも基本形の「DNX型」用のチップが使えるため、効率的な使用が可能です。



DNX型の在庫アイテムは、カッタ本体がφ80~160の8アイテム、刃先交換チップは5材種、13アイテムです。

鋳鉄や鋳鋼は、自動車や船舶のエンジン部品や自動車の足回り部品、その他工作機械、産業機械の駆体やベース部分など比較的大型で複雑な形状を要する機械部品に多く用いられます。これら鋳鉄・鋳鋼部品の加工は、加工部分が大型になることが多いため、切り込み量が大きく、かつ高速・高送りの高能率加工による加工時間の短縮が求められています。しかし、高能率加工は刃先にかかる抵抗や衝撃が大きく、チップ寿命の低下で工具コストが上昇するため、これを抑制したいとのニーズもあります。

当社は、こうしたご要望に応える鋳鉄・鋳鋼加工用の新型フライスカッタ「SEC-DNX型/DNH型/DNHS型」を開発し、発売を開始しました。



MC3310M(親機)



前面



背面

# 高速同軸モデム 「ACLC®」の ラインアップを拡充

集合住宅向けにFTTHサービスを展開している通信事業者・CATV事業者やホテル、病院、学校分野に携わるシステムインテグレータへ「MC3000シリーズ」を販売していく予定です。



既設のテレビ共聴用同軸ケーブルを利用して、高速で安定したネットワーク環境が構築できるのです。



## Point 1 高度な通信機能を実装

従来のACLC®に実装されている子機間通信遮断機能(セキュリティ機能)に加えて、QoS※4機能やIPマルチキャスト※5転送機能、データ暗号化機能などの高度な通信機能も実装しています。

## Point 2 管理機能を強化

Webブラウザによる子機の遠隔管理が可能となりました。また、任意の子機を指定して通信接続/切断を遠隔制御することを可能にするなど、通信事業者、CATV事業者の運用と親和性の高い設計としています。

## Point 3 接続作業時の利便性の向上

従来のACLC®同様、TV端子へ接続するだけで通信が可能です。さらに、モデム本体に同軸2端子(フィルタ内蔵)を実装したことにより、従来のACLC®で必要であった外付けの分岐器/分配器やフィルタが不要となり、モデム接続作業が容易になりました。また、同軸の物理速度をLED色(緑、橙、赤)によって見える化したことにより、モデム設置作業時の利便性を向上しています。

- ※1 PLC: Power Line Communication(高速電力線通信技術)
- ※2 ACLC: Advanced Cable Link Communication(当社)の高速同軸モデムのシリーズ名
- ※3 トリプルブレイ: 一本の回線でインターネット接続、固定電話、映像配信の3つのサービスを同時に利用可能。
- ※4 QoS: Quality of Service(音声や映像などリアルタイム通信の品質を確保するために、指定した通信パケットに対して優先的に帯域を割り当てる技術)
- ※5 マルチキャスト: 1台放送サービスで使用する特定多数の送信先に一斉に同じデータを送信するIP通信技術

当社と住友電工ネットワークス(株)は、高速同軸モデムの新型機「MC3000シリーズ」を開発し、本年10月から販売する予定です。

PLC※1技術を応用したACLC®※2は、2007年に発売以来、LAN配線が困難な既築の建物においても、低コストかつ短工期でネットワーク環境を構築できることから、これまでホテル、病院、学校、集合住宅向けに多数採用頂きました。今回、新たにラインアップに追加する「MC3000シリーズ」は、特に通信事業者、CATV事業者が提供する集合住宅向けトリプルブレイ※3サービスを対象として開発した製品です。

※1 PLC: Power Line Communication(高速電力線通信技術)

※2 ACLC: Advanced Cable Link Communication(当社)の高速同軸モデムのシリーズ名

※3 トリプルブレイ: 一本の回線でインターネット接続、固定電話、映像配信の3つのサービスを同時に利用可能。

※4 QoS: Quality of Service(音声や映像などリアルタイム通信の品質を確保するために、指定した通信パケットに対して優先的に帯域を割り当てる技術)

※5 マルチキャスト: 1台放送サービスで使用する特定多数の送信先に一斉に同じデータを送信するIP通信技術

## お知らせ

光通信事業部

## 富通住電光纜(成都)有限公司において光ファイバ工場の開所式を挙

当社と富通集団有限公司が合弁で設立した富通住電光纜(成都)有限公司(以下、SFC社)は、本年7月に光ファイバ工場の開所式を執り行いました。

SFC社では、2009年1月より光ケーブルを製造してきましたが、中国の光ファイバ需要の急増に伴い、このたび当社の最新技術を用いた光ファイバ線引機を導入し、新たに光ファイバの製造を開始することになりました。

当社の母材製造を含む高度な技術力と富通集団有限公司の強い販売力を融合させることにより、中国市場でのトップシェア、さらには業界のトップリーダーを目指していきます。



## SFC社の概要

|     |                |      |                    |
|-----|----------------|------|--------------------|
| 社名  | 富通住電光纜(成都)有限公司 | 出資比率 | 住友電工49% 成都富通光通信51% |
| 所在地 | 中国 四川省成都市      | 事業内容 | 光ファイバ・ケーブルの製造      |
| 資本金 | 30百万米ドル        | 設立   | 2008年11月           |

## お知らせ 競争法コンプライアンス体制の強化について

コンプライアンス違反行為の根絶、再発防止に向けて、以下の競争法コンプライアンスの体制強化、対策の徹底を図ります。

## 1. 特別研修の集中実施【実施済】

本年2月から5月にかけて集中的に、製造現場の社員を除く当社及び国内子会社の全社員を対象に、競争法コンプライアンス特別研修を実施しました。本研修は、今後も定期的に実施します。

## 2. 競争法コンプライアンス・ルールの整備

同業他社との接触を制限するルール等を含む、「競争法コンプライアンス規程」を新たに制定しました。本規程の実効性をより高めるために、各事業の状況に応じた運用ルール、体制を各部門で整備します。

## 3. 競争法コンプライアンス行動指針の制定

当社はコンプライアンス・マニュアル等を制定していましたが、新たに禁止事項や遵守事項が明確で、且つ海外の競争法にも対応した「競争法コンプライアンス行動指針」を制定し、研修を通じて営業部門を中心に周知徹底に取り組みます。

## 4. 専任組織の設置と監査体制の確立

「競争法コンプライアンス室」、「営業コンプライアンス室」を新設するとともに、事業単位毎に競争法コンプライアンス推進責任者を任命しました。

競争法コンプライアンス室は、専ら競争法コンプライアンスを推進する本社組織で、競争法コンプライアンス規程の運用、競争法や競争法コンプライアンス規程・運用ルールの遵守状況のモニタリングや監査、及び研修等の企画・実施等を行います。

営業コンプライアンス室は、競争法コンプライアンス室と連携し、電線関連営業におけるマニュアルやルール等の制定・運用、双方向コミュニケーションによる競争法遵守状況の調査、競争入札への対応状況等のモニタリング、及び規程・運用ルールの遵守状況の監査、等を実施します。

## お知らせ SEIオプティフロンティア(株)が営業開始

トヨクニ電線(株)と住電ハイプレジション(株)が合併し、本年7月よりSEIオプティフロンティア(株)が営業を開始しました。

SEIオプティフロンティア(株)は、両社が培ってきたFTTH(Fiber To The Home)関連製品や技術を継承・融合するとともに、当社の情報通信関連事業部門との連携を一層強化していきます。そして、より強固な事業基盤のもと、当社グループの光通信用機器製品の設計・製造を担う中核会社として、優れた新技術・価値を創造し、世界的規模で成長が見込まれるFTTH市場に高品質の魅力ある製品・サービスを提供していきます。

## 新会社の概要

|       |   |
|-------|---|
| 社名    | SEIオプティフロンティア株式会社                           |
| 本社所在地 | 当社 横浜製作所内                                   |
| 資本金   | 662百万円(当社100%出資)                            |
| 事業内容  | 光通信用機器製品・部品及び光ファイバケーブル、<br>通信用機械器具・工具の製造・販売 |
| 設立    | 2010年7月1日                                   |





### お知らせ 「アンテナ製品Webサイト」を開設

7月1日に、アンテナ製品Webサイトを新たに開設しました。TV放送開始初期の1957年から、当社は、放送用アンテナを納入し、長年にわたり全国の放送会社や通信事業者等に様々なアンテナ製品を提供してきました。今般、こうしたアンテナ製品を広くご紹介するために、本サイトを開設しました。

本サイトは、「製品情報」、「トータルソリューション」、「納入実績」、「データダウンロード」から構成しています。「製品情報」では、放送用、移動体通信用、業務用無線などのアンテナ製品や、高周波伝送用部品等を紹介しています。また、「データダウンロード」では、各製品カタログや詳細な仕様書をダウンロード頂けます。

今後も、掲載するコンテンツを増やし、当社の活動をご理解いただけるよう、内容の充実に努めていきます。



アンテナ製品Webサイト <http://www.sei.co.jp/antenna/>

### 受賞 自動車事業本部 関係会社統轄部、SEBN社 「Volkswagen Group Award 2009」を受賞

ドイツの自動車メーカー・フォルクスワーゲン社が世界中の優秀なサプライヤを表彰する「Volkswagen Group Award 2009」がドイツのヴォルフスブルク市近郊で開催され、当社グループのSEBN社※が受賞を果たしました。

今回の受賞は、欧州におけるハーネス調達先の1社が経営破綻したことにより引き起こされた供給問題において、他のハーネスメーカー2社と協力し、同社の生産拠点を生産停止することなく引き継ぎ、フォルクスワーゲングループの部品調達の安定化に貢献したことが認められたものです。

表彰式には、フォルクスワーゲン社のWinterkorn会長のほか、世界中から多くのサプライヤが出席しました。これからもお客様の期待に応えられるよう、住友電工グループ全体の連携を強化していきます。

※SEBN社：Sumitomo Electric Bordnetze GmbH(ドイツ)  
自動車用ワイヤーハーネス及び関連製品の製造販売会社



### 受賞 システム事業部、システム営業部 西日本高速道路(株)関西支社より感謝状を受領

西日本高速道路(株)関西支社より、今年3月に竣工した「第二京阪道路 枚方東～門真ジャンクション間道路交通情報設備工事」について、開通に向けた厳しい施工条件を克服し工期内に無事完工させたことを高く評価して頂き、このたび感謝状を受領しました。

本工事は、高速道路上の安全走行に寄与することを目的に、当社が得意とする交通量計測設備の他、CCTV※、路車間情報、ハイウェイラジオ、ラジオ再放送といった情報収集系及び提供系設備を新規路線の第二京阪道路に構築したものです。

今後も当社は、より安全で快適な道路交通の実現に貢献できるよう全力で取り組んでいきます。

※CCTV：Closed Circuit Televisionの略。閉回路の映像伝送システムで、主に監視用として使われる。



### 受賞 自動車事業本部 関係会社統轄部、SDB社 フィアットアウトモータース社より 2009年度品質優秀賞を受賞

この度、当社グループのSDB社※は、ブラジルのフィアットアウトモータース社より、品質優秀賞を受賞しました。本受賞は、SDB社の納入する自動車用ワイヤーハーネス製品について、フィアットアウトモータース社より品質、コスト、納入、開発の総合的なサービスを高く評価されたものです。SDB社は、今回で、のべ7回、連続5回の受賞となります。

今後も、新興国のなかでも自動車需要の拡大著しいブラジルにおいて、引き続きお客様に満足いただけるよう、着実に事業活動の強化を図っていきます。

※SDB社：Sumidense do Brasil Industrias Eletricas Ltda.  
自動車用ワイヤーハーネス及び関連製品の製造販売会社





探訪 住友のこころ

【番外編】

# SEI子さん、 住友ゆかりの 地をめぐる

## 〜四阪島編〜

4月の中旬に新居浜市、別子銅山、四阪島を訪れました。今月号は四阪島を中心にご紹介します。



四阪島は住友金属鉱山株式会社の所有地で、関係者以外の立入りはできません。現在は、酸化亜鉛の製造が行われています。

1905年頃の四阪島製錬所(住友史料館所蔵)

四阪島は愛媛県新居浜市の北方沖合約18kmにある島で、美濃島、家ノ島、明神島、鼠島の四島の総称です。かつて、ここには銅製錬所がありました。四阪島に銅製錬所を建設したのは、第2代住友総理事伊庭貞剛です。当時、新居浜の製錬所から排出される硫黄分を含んだ煙(亜硫酸ガス)が、農作物に悪影響を与える煙害が大きな問題となっており、伊庭は、煙害問題の根本的な解決を

目指し、製錬所を四阪島へ移転することを決意しました。1897年に無人島の家ノ島で製錬所の建設が始まり、また、美濃島には社宅、学校、病院、共同浴場、商店、飲食店、劇場などが建てられ、大正時代には約5000人もの人々が住んでいたそうです。製錬所は1905年に操業を開始しましたが、問題の亜硫酸ガスは風に乗って新居浜一帯に達し、かえって被害は拡大してしまいました。そこで、

賠償金の支払いをする一方、亜硫酸ガスを出さないようにする研究を継続し、1939年、操業開始から34年の年月を経て、煙害を克服しました。長い年月はかかりましたが、環境問題・公害問題に正面から立ち向かい、これを見事に解決したのです。1978年には、銅製錬が終了し、その後人々は島を離れ、美濃島は静かな島にかえっています。家ノ島の大煙突は今でも当時の製錬所の面影を伝えています。



1957年の布設工事の様子

当社と四阪島の関わりは、1922年に新居浜から四阪島までの21kmを結ぶ当時としては世界最長の海底電力ケーブルを当社(当時：住友電線製造所)が製造・布設したという歴史があります。

海中送電は、当時の技術では不可能とされていたため、この計画は長い間見送られていました。ちなみに、それまでは、サンフランシスコの6.7kmのケーブルが世界最長だったとのことです。

1918年に別子鉱業所は住友電線製造所に海底送電線の製造・布設の研究を依頼しました。そこで、海外の水底ケーブルなどの調査・研究を進め、また、海底ケーブル分野の製造実績を積み重ね、1922年に製造・布設を成し遂げたのです。その実績は当社の海底ケーブル事業の発展へとつながりました。

新居浜市では、別子銅山記念館と広瀬歴史記念館を訪れました。

●別子銅山記念館  
半地下に建てられた記念館の屋根にはサツキが植えられ、外観が周りの風景に見事に溶け込んでいます。別子銅山の開坑以来の歴史の資料や「泉屋コーナー」、「歴史コーナー」、「地質・鉱床コーナー」などがあります。標高1000m以上から海面下1000mにまでおよぶ別子

銅山の坑道を模した模型もあります。



●広瀬歴史記念館  
住友家初代総理事 広瀬宰平を顕彰する新居浜市立の記念館です。旧広瀬邸は明治1877年建築の近代和風建築で、1887年に現在の場所に移築され、平成15年には国の重要文化財に指定されています。



銅山の坑道を模した模型もあります。



# 北海道住電精密(株) 北海道電機(株)

住友電工グループとして北海道での初の事業拠点である北海道住電精密は、炭坑閉山後の産業振興を望む町と、粉末合金事業部(現在のハードメタル事業部)の生産拠点を模索していた当社の思いが一致し、1972年に設立されました。その後、1987年には、北海道で唯一の電線メーカー・北海道電機を設立。奈井江町の皆さん、地域の皆さんのあたたかいご理解とご支援をいただき、今では両社で計約500人を有する地域ではトップクラスの会社に育っています。



## 会社概要

北海道住電精密(株)  
業：1972年7月  
代表者：代表取締役 中堂 益男  
資本金：4億5千万円



## 会社概要

北海道電機(株)  
業：1987年5月  
代表者：代表取締役 新山 強  
資本金：2億円

## ■ 地元の環境から生まれ、活躍する「MADE IN 北海道」の製品たち。 ■

### ●北海道住電精密(株)

北海道の冷涼乾燥の自然環境は粉末冶金技術にとって最適であり、北海道住電精密は、超硬合金工具「イゲタロイ®」刃先交換型チップの専門メーカーとして1980年に操業を開始し、その後、超硬工具の原料粉末である完成粉末を製造品目に加えるなど、生産規模を拡大してきました。

高度な粉末冶金技術とコンピュータを駆使した統合生産システムにより、原料から製品まで一貫した高効率生産ラインを

構築し、現在では刃先交換型チップのグローバル生産拠点として、国内のみならず、海外にも多数輸出されており、世界のモノづくり技術の発展の一翼を担っています。



### ●北海道電機(株)

北海道で唯一の電線メーカーである北海道電機では、北海道の気候に適した難着雪低風圧電線をはじめとする各種電線ケーブル、光ファイバケーブルなどの光関連製品を手掛けています。また、ヨーロッパで親しまれている蓄熱暖房を北海道仕様を開発した電気蓄熱暖房器「暖吉くん®」は、全国的なオール電化の促進が追い風となり、北海道はもとより、東北、北陸などへも販売されています。



暖吉くん®

## TOPICS

薄紅、濃紅、紫、白一。両社の敷地には、毎年5月に約5万株の芝桜が一斉に咲きそります。その鮮やかな花のじゅうたんを一般の方にも開放する『芝桜まつり』は地域住民の方にも楽しみにして頂いています。今年には北海道住電精密が1980年の工場操業開始から30周年を迎える記念の年であり、「住電30周年記念 芝桜まつり」として盛大に実施、地域住民約1500人にお越しいただきました。



# Ingenious Dynamics

住友電工グループは、卓越した知見と獨創性を持ち、  
そのダイナミクスによって最大効果を創出し、社会の期待に応えていきます。

Ingenious は、それぞれが備え持つ卓越した能力と獨創性、そして顧客志向の機動力を、  
Dynamics は、原動力(住友の精神)、力学(多角化事業・技術によるグループ全体の総合力)、  
変革のエネルギー(進取、気鋭)を表しています。また同時に、頭文字の「ID」は、  
グローバルに「住友電工のアイデンティティ」(独自の個性)を積極的に発揮していく姿勢と、  
「Infrastructure Development」(社会インフラの発展)に貢献し続ける意志を示しています。



<http://www.sei.co.jp/>(バックナンバーも掲載しています)

本 社(大阪) 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-5-33(住友ビル) Tel.06-6220-4119 Fax.06-6220-6485  
本 社(東京) 〒108-8539 東京都港区芝浦3-9-1(芝浦ルネサイトタワー) Tel.03-6722-3100 Fax.03-6722-3109  
中 部 支 社 〒461-0005 名古屋市東区東桜1-1-6(住友商事名古屋ビル) Tel.052-963-2700 Fax.052-963-2818  
九 州 支 店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-8(住友生命博多ビル) Tel.092-441-1791 Fax.092-473-7084  
中 国 支 店 〒730-0031 広島市中区紙屋町1-3-2(銀泉広島ビル) Tel.082-248-1791 Fax.082-249-3483  
東 北 支 店 〒980-6009 仙台市青葉区中央4-6-1(住友生命仙台中央ビル) Tel.022-262-7540 Fax.022-262-7538  
北 海 道 支 店 〒060-0042 札幌市中央区大通西8-2(住友商事ファミヤ大通ビル) Tel.011-241-1375 Fax.011-281-4113  
沖 縄 支 店 〒900-0015 那覇市久茂地1-3-1(久茂地セントラルビル) Tel.098-866-3213 Fax.098-866-0277  
豊 田 事 業 所 〒471-0855 愛知県豊田市柿本町2-4-1 Tel.0565-26-4105 Fax.0565-26-4158

住友電工グループニュースレター 第395号,2010年8月発行 編集発行人/中田将稔



大豆インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」で印刷しています。